

そえだ勝氏が「逆・介護保険」を提唱するワケ

～健康寿命を伸ばし、破たんしない介護財政を～



私は10年間
訪問介護員
でした。

その時大きな
矛盾が…

少しでも回復
するように
リハビリし…

要介護4



要介護2

元気になることを
目指して
働きました…

ところが

要介護4から
2になったので
行政からの報酬が
来月10万円
減ります…

ええ!?

元気がなくなったの!?!

介護報酬がこんなに!?
要介護4(報酬約30万円)
要介護2(報酬約20万円)
現状の介護保険制度は
高齢者が元気になると
介護事業者の報酬が
減ってしまうのです。

1

2

報酬が下がって
しまうことが
ヘルパーの
賃金にも影響し
負の三重苦に……

低賃金

離職者
増加

サービス
低下

元気になったのに?!

やめます……

介護うけたいのに断られた……

忙しくて
手が
足りない!!

家族に負担がのしかかる

3

4

その
悪循環を

逆・介護保険

断つ!!

逆・介護保険とは……

高齢者を元気に
する(要介護度が改善する)
「質の良い介護」
を行う事業者を正當に
評価し、成果報酬を付与
するシステムです。

質の良い
介護で
健康寿命を!!

安心の
サービス

正当評価で
ヘルパーの
やりがい

破たん
しない
介護財政を!!



5



6

